



Sustainability



Health



Comfort

株式会社三菱ケミカルホールディングス 会社紹介

(証券コード：4188)

2016年10月開催

株式会社三菱ケミカルホールディングス
代表執行役専務 小酒井 健吉

THE KAITEKI COMPANY

本日の内容

1 私たち、三菱ケミカルホールディングスは総合化学会社です

1-1 会社概要

1-2 事業領域と業績

2 三菱ケミカルホールディングスのこれから

2-1 中期経営計画

2-2 当社の強み —市場をリードする製品・サービス—

(ご参考) 株式情報



1. 私たち 三菱ケミカルホールディングスは 総合化学会社です

- 1-1 会社概要
- 1-2 事業領域と業績

1-1 会社概要

資本金

500億円

(2016年3月末時点)

連結売上高

3.8兆円

(2016年3月期実績)

業界内ポジション

国内1位、世界8位

(出所) Thomson Reuters (FORTUNE Global 500) による各社直近期 Data (2015年8月現在)

連結営業利益

2,800億円

(2016年3月期実績)

関係会社数

約750社

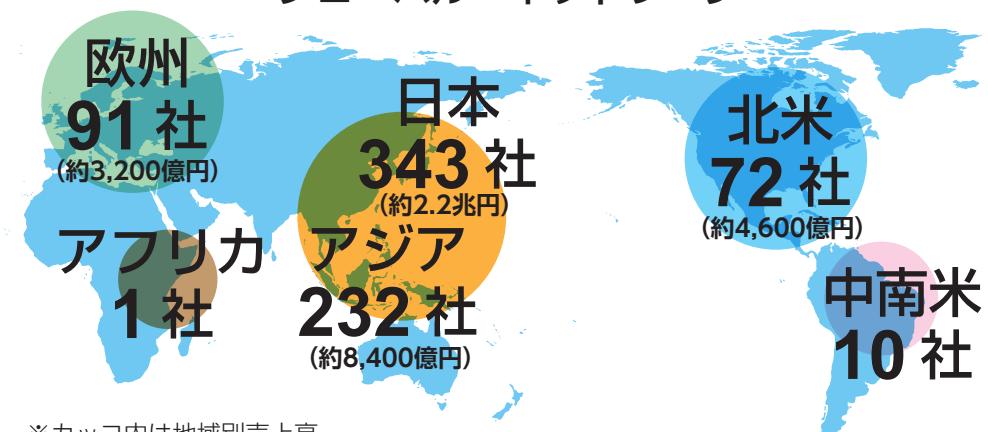
海外売上高比率：43%

(2016年3月期実績)



本社：
東京都千代田区丸の内 1-1-1
パレスビル

グローバル・ネットワーク



※カッコ内は地域別売上高

1-1 会社概要

株式会社三菱ケミカルホールディングス*

(2005年10月～)

*: 上場会社

事 業 領 域 :  機能商品  素材  ヘルスケア

連結従業員数: 68,988 人 (2016年3月現在)

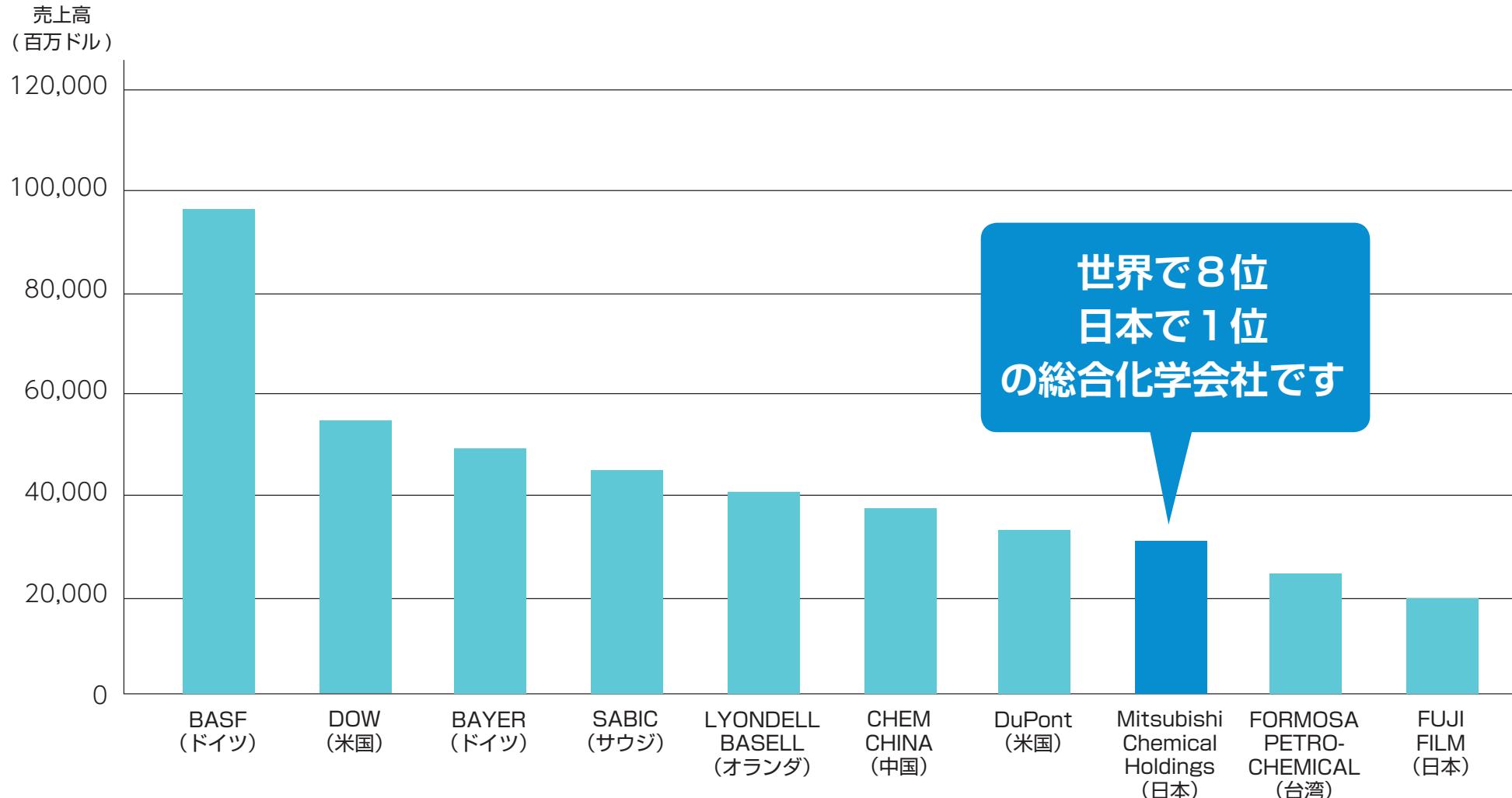
2017年4月 化学系3社を統合し、三菱ケミカル(株)に

 100%  	 100% 	 100%  	 56.3% 	 100% 	 50.6% 
三菱化学(株) (2005年10月)	三菱樹脂(株) (2008年4月)	三菱レイヨン(株) (2010年3月)	田辺三菱製薬(株)* (2007年10月)	(株)生命科学 インスティテュート (2014年4月)	大陽日酸(株)* (2014年11月)
連結売上高 17,460億円 事業内容 機能商品 素材 等	連結売上高 4,808億円 事業内容 合成樹脂加工 無機纖維材料 等	連結売上高 5,485億円 事業内容 化成品、樹脂、纖維 炭素纖維、アクア等	連結売上高 4,317億円 事業内容 医療用医薬品 等	連結売上高 1,360億円 事業内容 健康・医療ICT 創薬・製薬支援 次世代医療 等	連結売上高 6,415億円 事業内容 産業ガスおよび 関連機器・装置 等
グループ会社	グループ会社	グループ会社	グループ会社	グループ会社	グループ会社

1-1 会社概要

業界におけるポジション

売上高国内トップ、世界8位の総合化学会社です。



出典：Fortune Global 500 (<http://fortune.com/global500>) 2015年8月現在

THE KAITEKI COMPANY

私たちがめざすものは、“時を越え、世代を超え、人と社会、そして地球の心地よさが続く状態”であると考え、この状態を“KAITEKI”というオリジナルのコンセプトで表現しております。

Sustainability [Green] (環境・資源)

Health (健康)

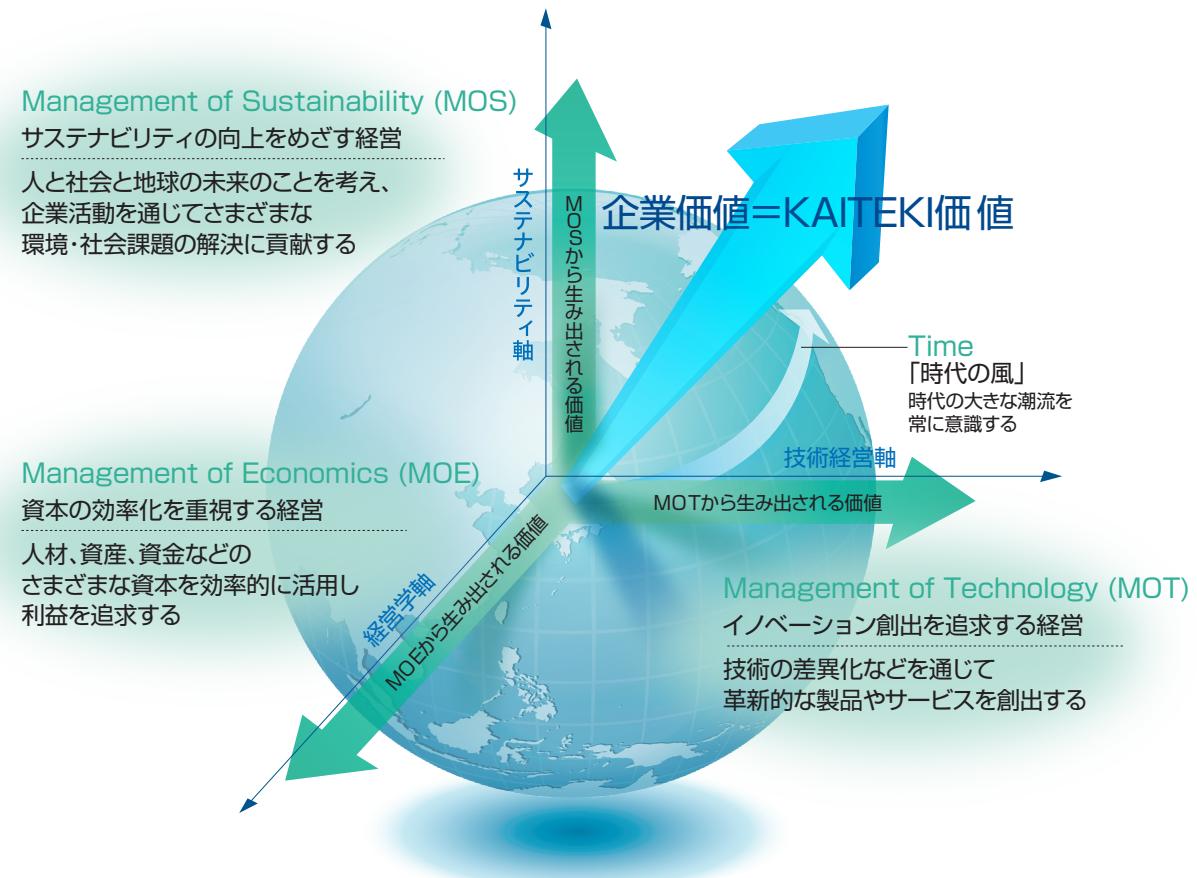
Comfort (快適)

を企業活動の判断基準とし、機能商品、素材、ヘルスケアの3つの事業分野において、KAITEKIの実現をめざした企業活動を推進しています。

KAITEKIの実現に向けた「KAITEKI経営」とは、

- 業績に代表される経済価値向上の基軸
(MOE : Management of Economics)
- 技術経営深化の基軸
(MOT : Management of Technology)
- 人・社会・地球環境のサステナビリティー(持続可能性、維持能力)向上を目指す基軸
(MOS : Management of Sustainability)

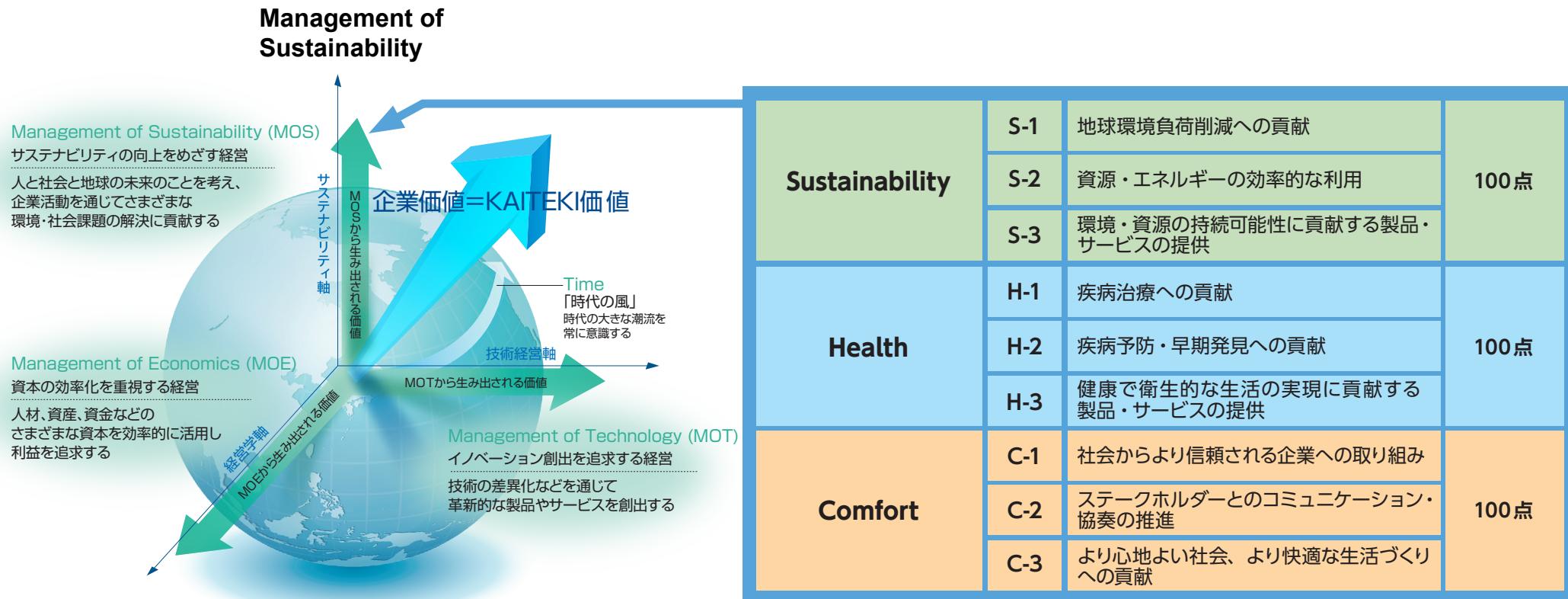
これら3つの基軸に時間の要素を加え、企業価値を高めようとする経営手法です。



1-1 会社概要

MOS 指標

2020 年度の達成目標を 300 点として各項目を評価

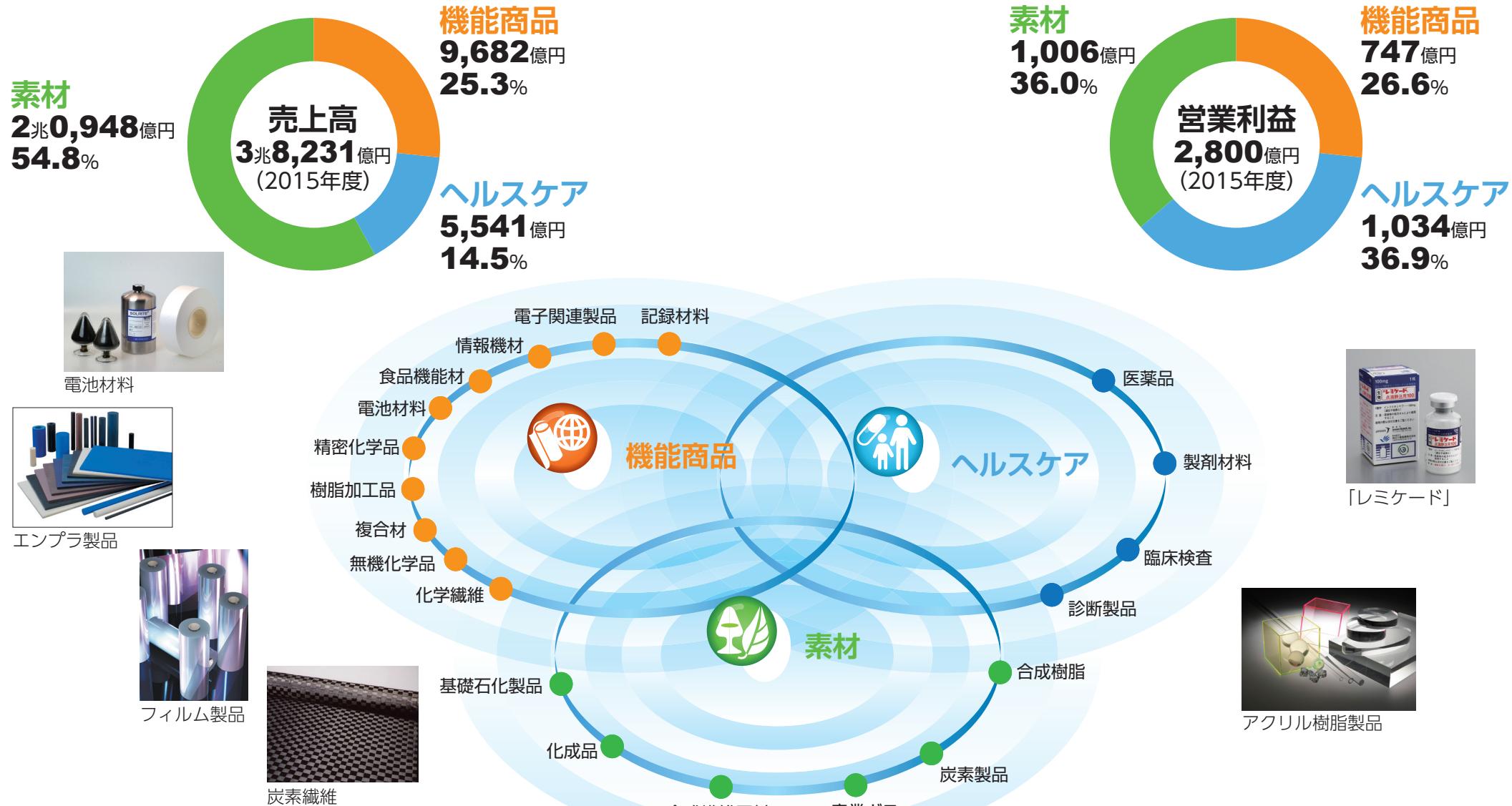


MOS 基軸を可視化・定量化した MOS 指標を策定、進捗評価への経営指標とし KAITEKI 経営に取り組み、さらに、売上高・営業利益・ROA 等の基礎的経営指標に MOS 指標をあわせ、当社グループの企業価値を表現し、さらにグローバルスタンダードにできるよう働きかける。

1-2 事業領域と業績

3つの事業分野

石油化学から医薬品、LED 照明や浄水器の最終製品まで、幅広い事業群を 3 分野に集約



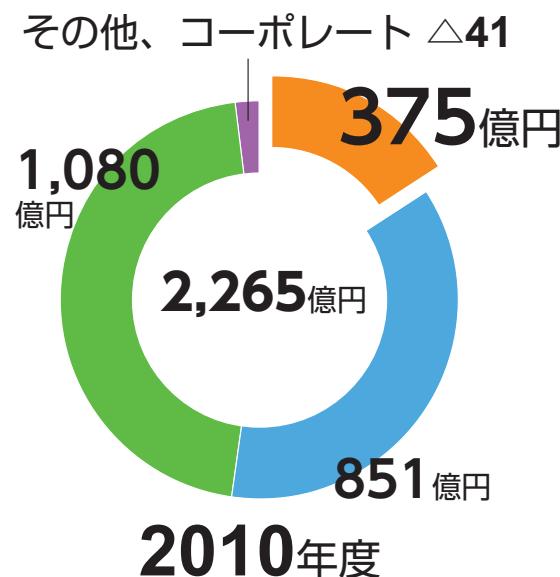
1-2 事業領域と業績

業績推移

事業分野別営業利益推移

M&Aの実績：売上影響金額 + 1兆3,500億円

■ 機能商品 ■ 素材 ■ ヘルスケア

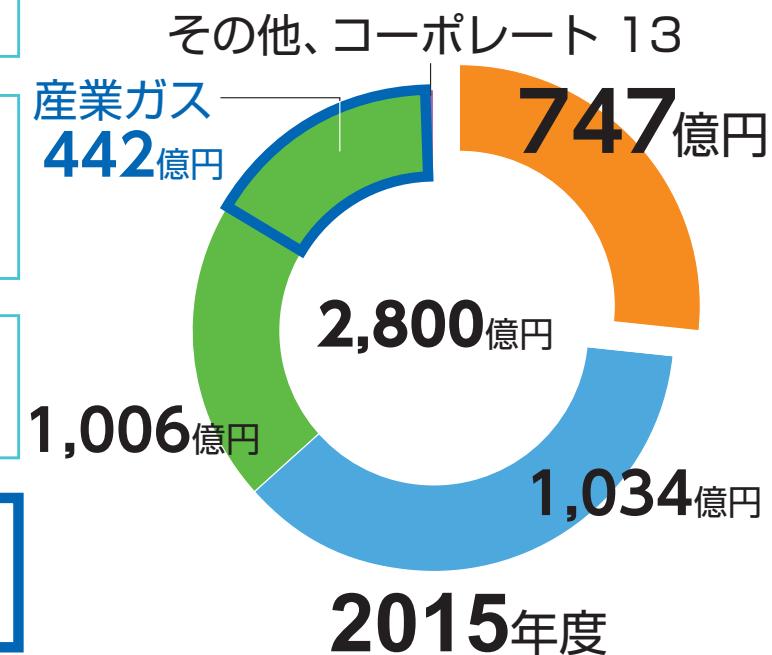


三菱レイヨン
(2010年4月経営統合)

日本合成化学工業
(2012年12月株式過半取得)
クオリカプス (2013年3月買収)

クオドラント
(2013年5月完全子会社化)

大陽日酸
(2014年11月連結子会社化)

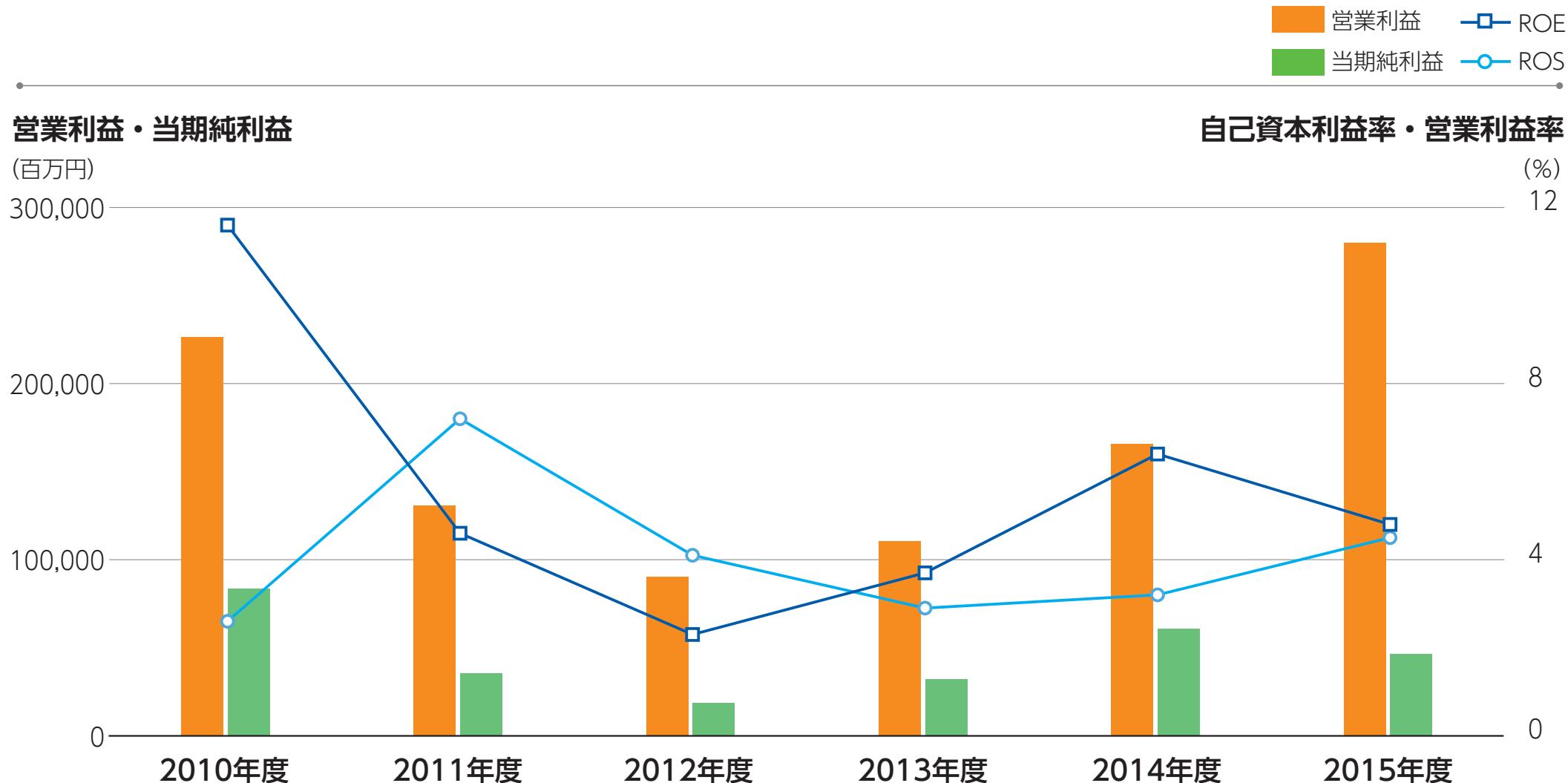


撤退・再構築の実績
売上影響金額 ▲ 3,100億円

1-2 事業領域と業績

業績推移

2015年度の売上高・営業利益ともに過去最高を更新





2. 三菱ケミカルホールディングスのこれから

2-1 中期経営計画

2-2 当社の強み —市場をリードする製品・サービス—

名称 **アプトシス
APTSIS 20**
期間 2016～2020年度

機能商品、素材、ヘルスケア分野の事業を通じて、高成長・高収益型の企業グループをめざす

基本方針

高成長

- » グループにおけるインテグレーション・協奏促進
- » 海外事業の展開加速とマネジメント深化

高収益

- » 収益性を意識したポートフォリオ・マネジメントの強化
- » コスト削減等を通じた生産性の高い企業体质の実現

財務基盤強化

2-1 中期経営計画

2020 年度数値目標

事業戦略と財務戦略を両輪として、資本効率を向上させ ROE 10% 以上を達成する

財務指標 (MOE)

	IFRS ベース	2015年度実績 (IFRS ベース参考値)
コア営業利益	3,800 億円	2,942 億円
ROS (コア営業利益)	8 %	8 %
親会社株主帰属当期純利益	1,800 億円	514 億円
ROE	10 %以上(12%)	約5%
Net D/E ratio	0.8	1.17

* コア営業利益

IFRS の営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いた経常的な収益

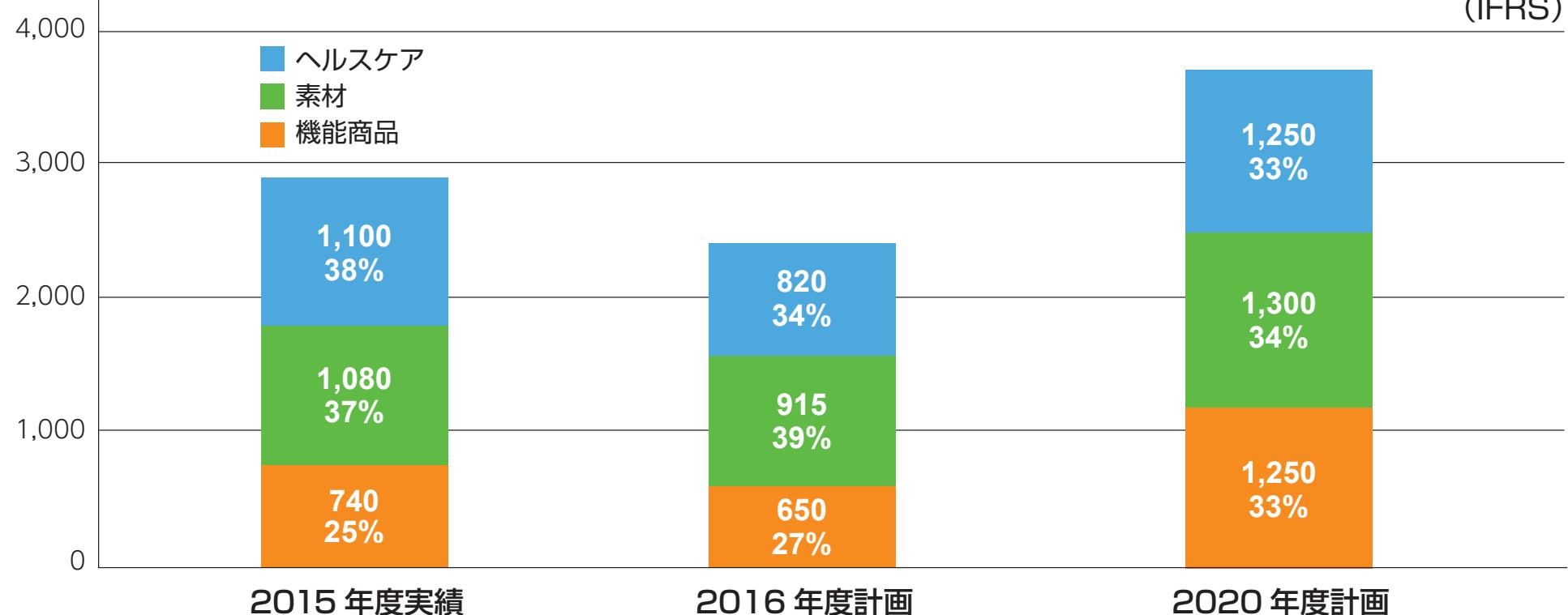
2-1 中期経営計画

2020 年度の収益構成

特に機能商品、ヘルスケア分野の発展と収益の拡大を図る

コア営業利益
(億円)

(IFRS)



コア営業利益 2,942 億円
売上高 3.7 兆円

コア営業利益 2,350 億円
売上高 3.6 兆円

コア営業利益 3,800 億円
売上高 4.7 兆円

2-1 中期経営計画

資源配分方針

- 成長投資に1兆円、R&D投資に7,000億円を投入
- 機能商品、ヘルスケア分野に資源を重点配分

資源配分

設備投資（維持・更新） 5,000億円

設備投資（成長）

5,000億円

成長の為の投資

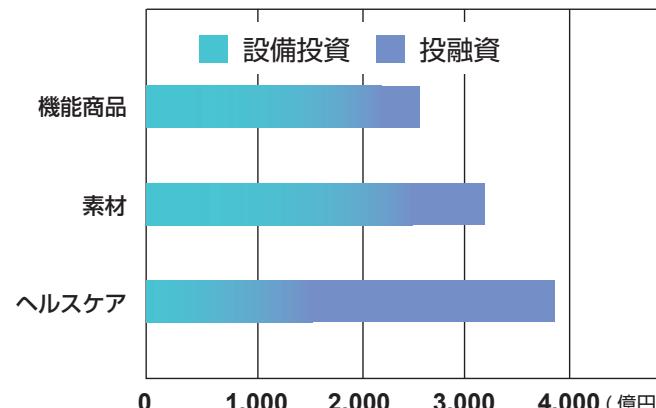
戦略的投資（M&A等）

5,000億円

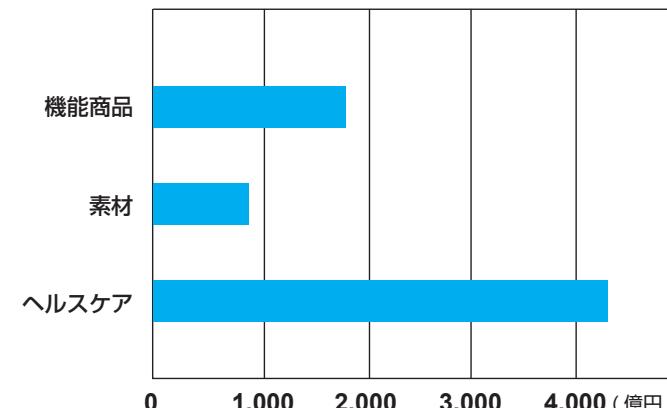
R&D投資

7,000億円

成長の為の投資：1兆円



R&D 投資：7,000 億円



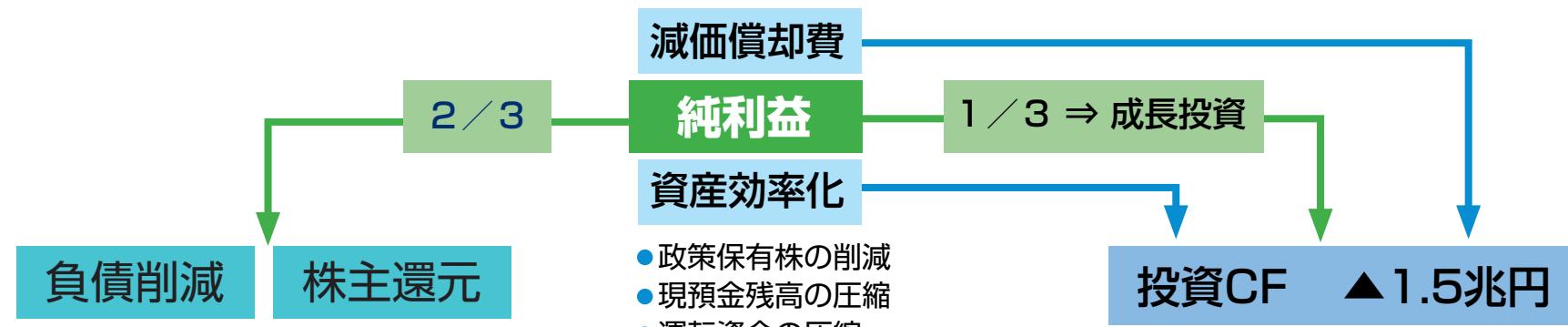
2-1 中期経営計画

財務戦略

- 「成長事業への投資」、「株主還元の充実」及び「財務体質の強化」の適切なバランスを維持し、企業価値の向上を図る
- 投資枠は、「減価償却費」と「純利益の1／3」に、「資産効率化」を加えた額とする
- 有利子負債を削減し、自己資本比率を向上させる

【5ヵ年累計 キャッシュフロー】

営業 CF 1.9兆円

IFRSベース
金額は5ヵ年の累計値

【財務目標】

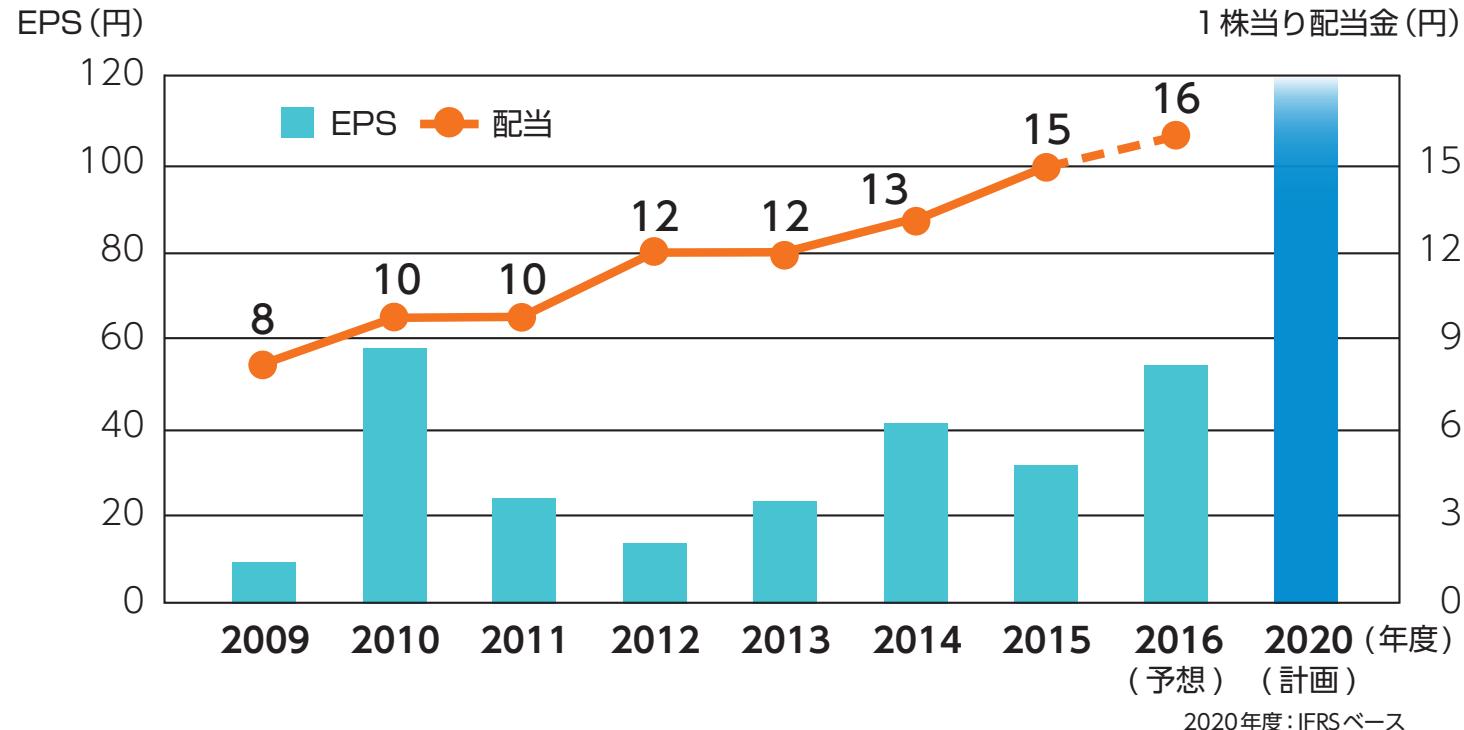
	2015年度実績	2020年度
自己資本比率	23%	30%
ネットD/Eレシオ	1.1倍	0.8倍

2-1 中期経営計画

株主価値の向上

株主還元の 基本方針

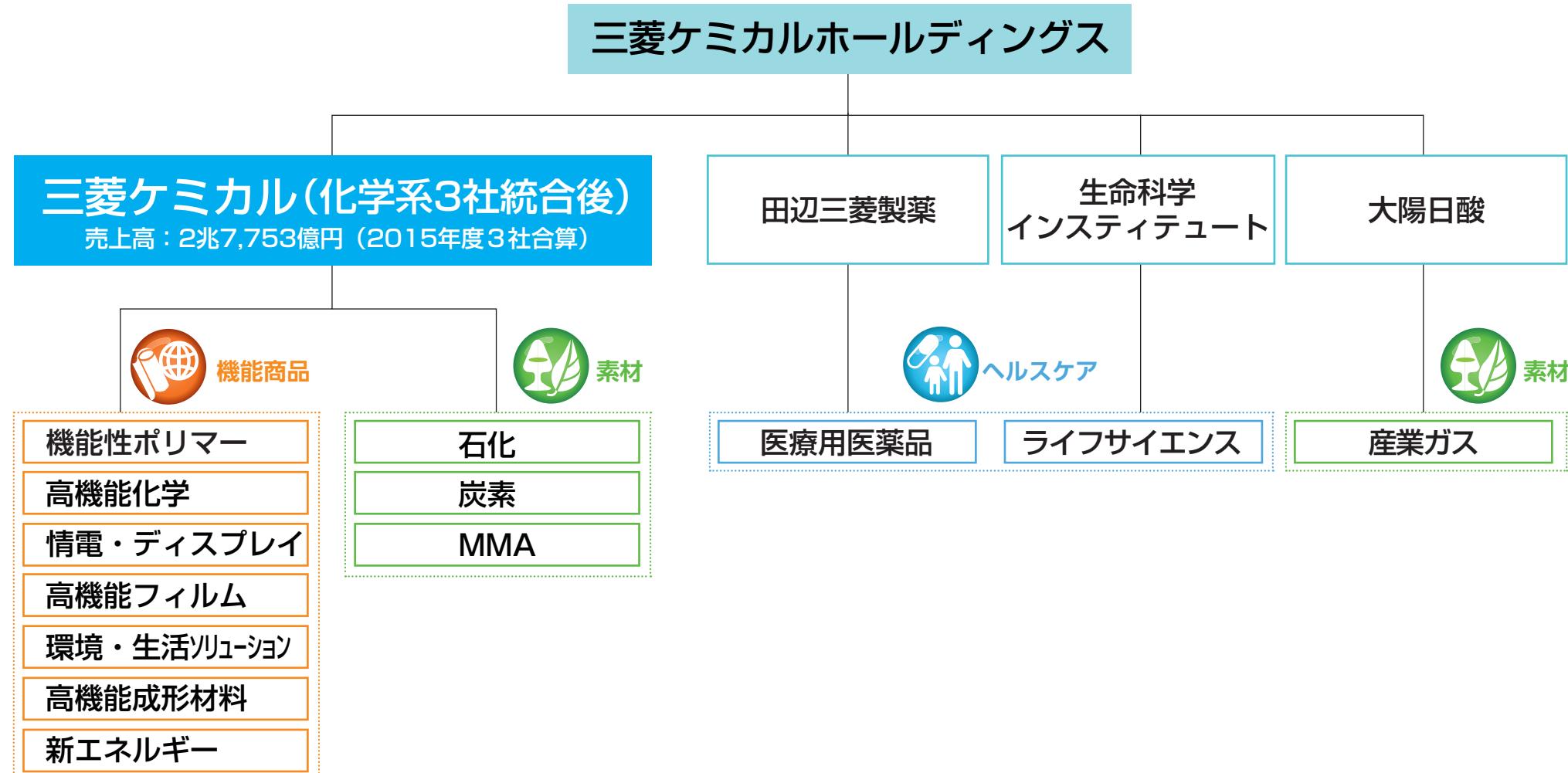
- 企業価値の向上を通じ、株主価値の向上をめざす
- 配当政策については、成長投資・財務体質の改善とのバランスを考慮
 - 中期的な連結配当性向の目安を30%とする
 - 安定的な配当を実施する



2-1 中期経営計画

主要施策：統合新社の概要

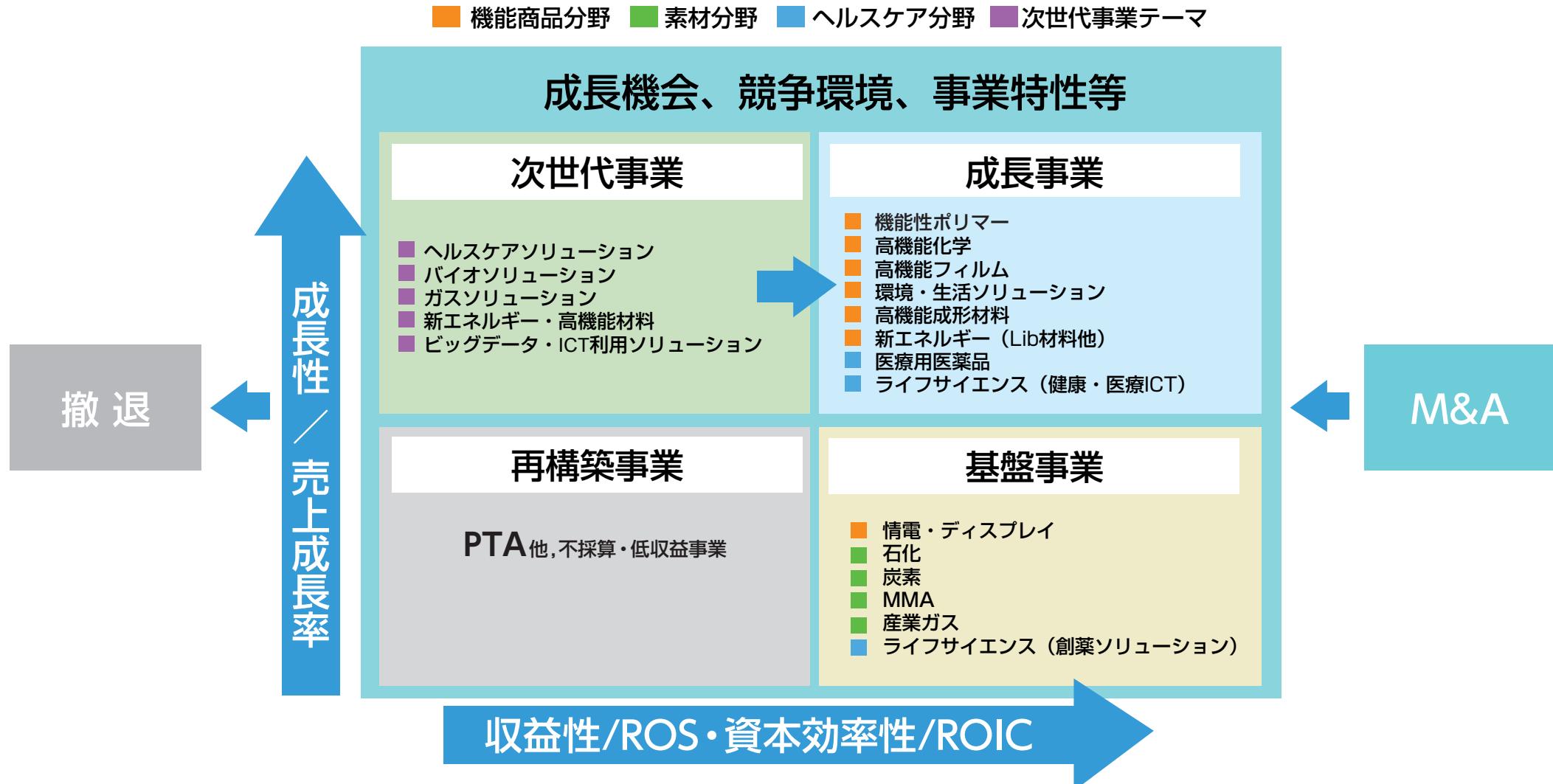
- シナジー効果を最大限発現させて成長促進と収益拡大実現のため、3社統合後 10の事業ユニットに再編成
- 技術基盤、販売チャネル、共通部門の効率化を促進
- 統合効果：シナジー 150 億円、合理化 50 億円



2-1 中期経営計画

主要施策：ポートフォリオ・マネジメント

- 高成長・高収益型の事業体の形成をめざして、ポートフォリオ・マネジメントを徹底



2-2 当社の強み ー市場をリードする製品・サービスー

現 在

高機能フィルム

高機能ポリマー
炭素繊維

アクリル樹脂原料

関節リウマチ等治療薬

多発性硬化症治療薬

● 性能・品質 **No.1**

● 世界シェア **No.1**

● 国内シェア **No.1**

これから

炭素繊維

有機太陽電池

バイオプラスチック

Muse 細胞

鉄より強く、
アルミより軽い

軽くて、薄い

環境負荷の低い
プラスチック

再生医療分野に
進出

2020年に売上高
1,000億円をめざす

変換効率、耐久性の
更なる向上をめざす

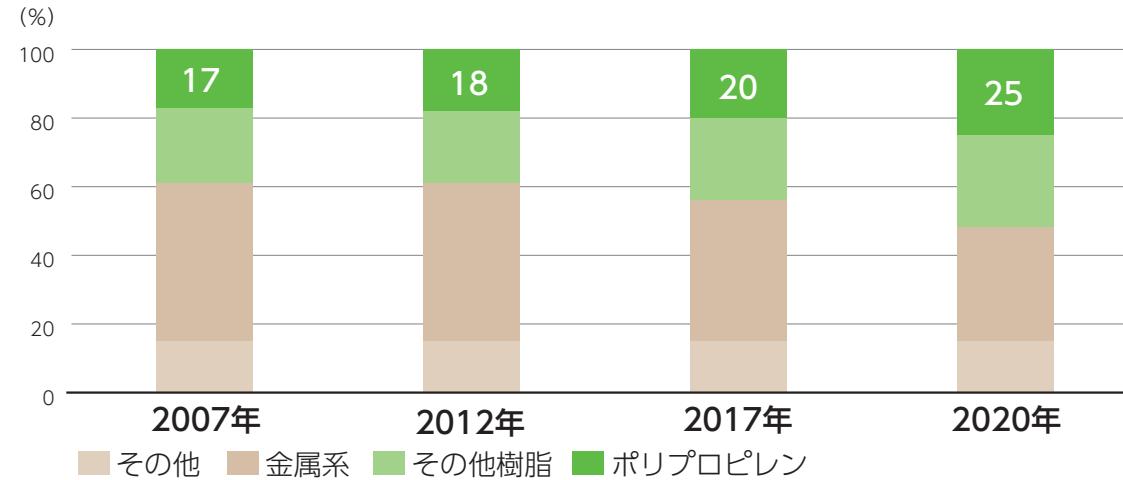
高付加価値分野
に注力

2019年早期申請を
めざす

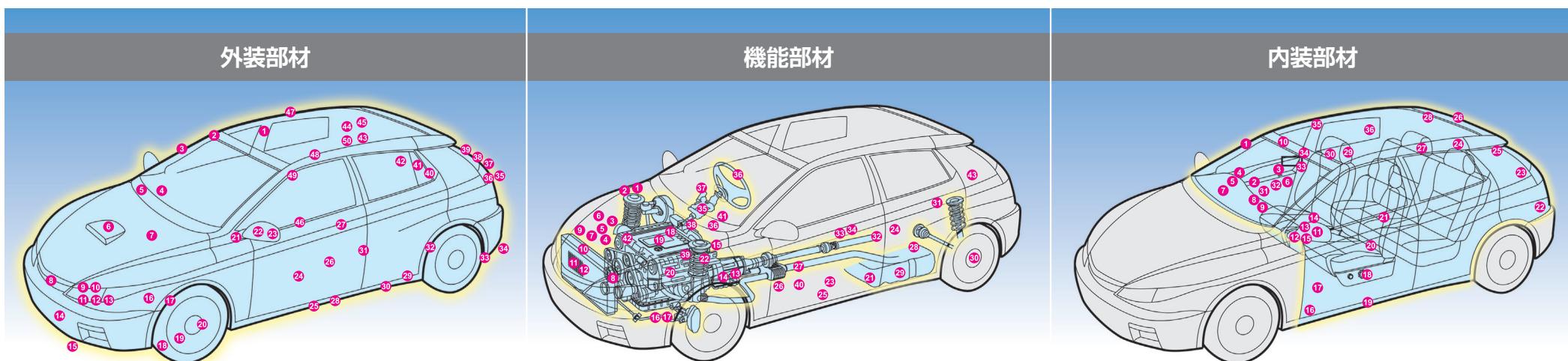
2-2 市場をリードする製品・サービス(現在)

CASE1:高機能ポリマー
炭素繊維

- 自動車構成原料の容積比率(2020年約50%が樹脂化される見通し)



弊社グループ製品が、自動車用途に多数、幅広く採用されている(約130箇所)



2-2 市場をリードする製品・サービス (現在)

CASE1 : 高機能ポリマー
炭素繊維

- さらに拡大する自動車用途への展開～当社グループで提供可能な技術～



塗装工程効率

表面特性

熱マネジメント

遮音性向上

電池材料 (航続距離向上)

バイオプラスチック

新規樹脂部品の展開

CFRP (炭素繊維)



樹脂燃料タンク



樹脂ガラス



外板



樹脂モジュール



既存自動車部品の高性能化

薄肉化



発泡



高機能化

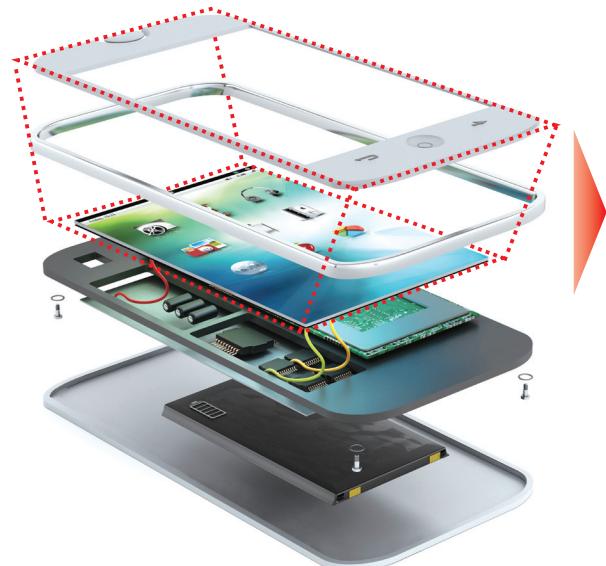
2-2 市場をリードする製品・サービス(現在)

CASE2:高機能フィルム

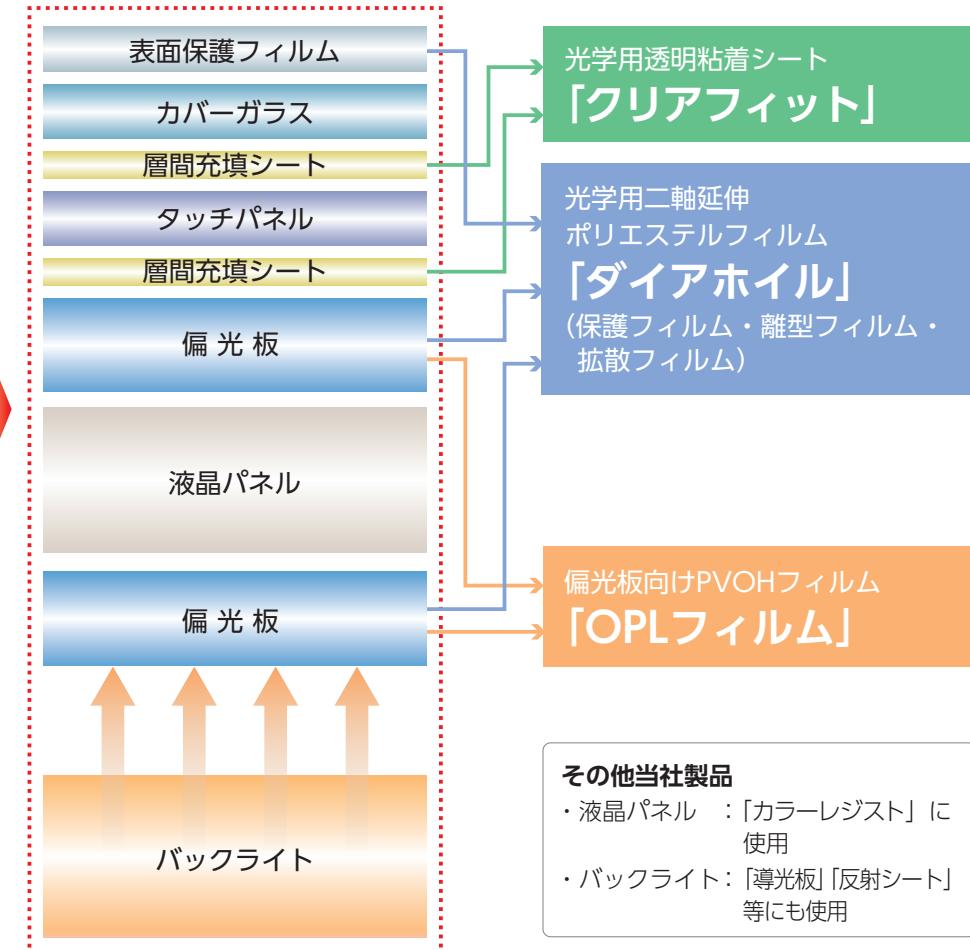
- グループ内の独自技術を融合させ、高機能化を実現
フラットパネルディスプレイ(FPD)関連は、市場増大を確実に取り込み拡大を狙う

売上規模

約3,000億円



スマートフォンの構成例



2-2 市場をリードする製品・サービス (現在) CASE3:素材分野(アクリル樹脂原料)

- 圧倒的なコスト競争力のある技術を強みに、世界にアクリル樹脂原料を供給

3つの製法による生産拠点の世界展開

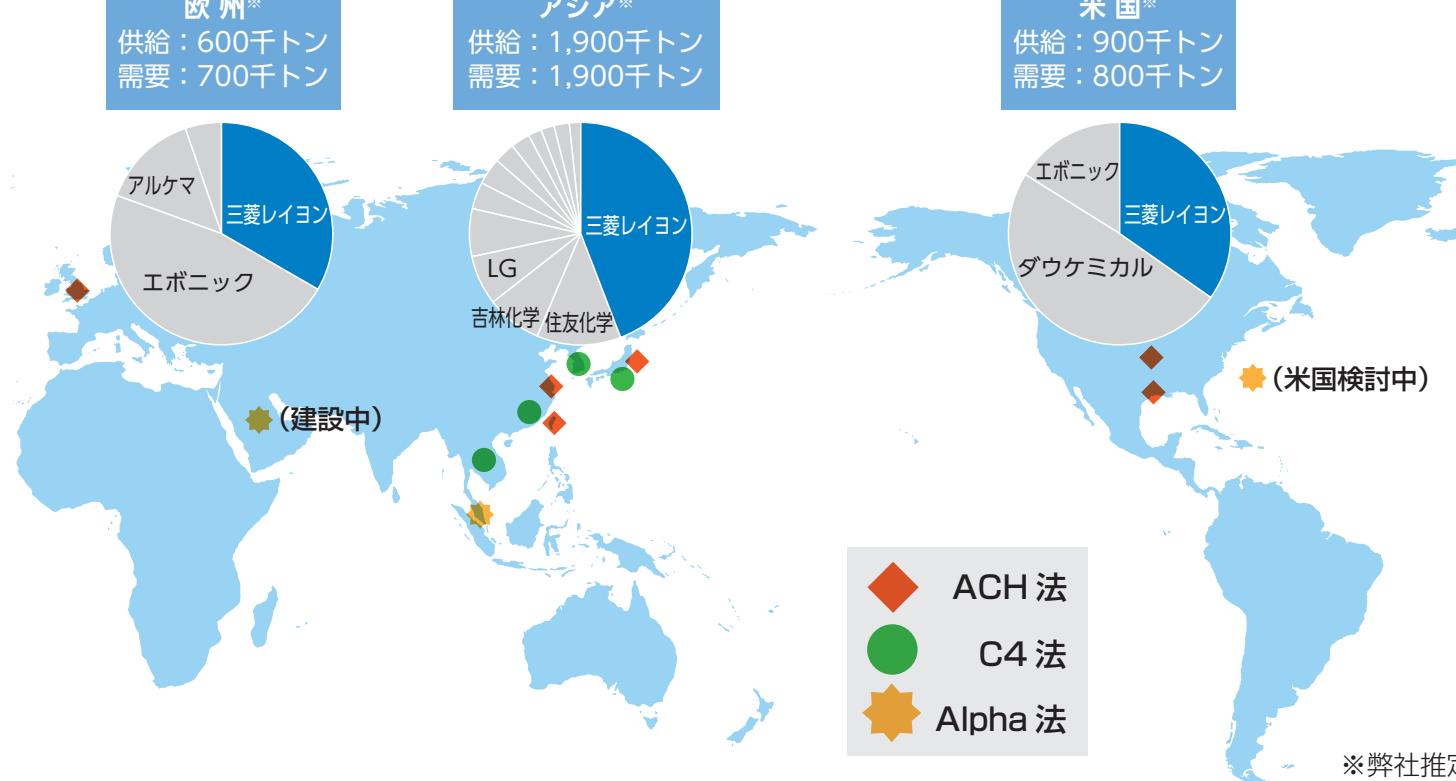
欧州※
供給: 600千トン
需要: 700千トン

アジア※
供給: 1,900千トン
需要: 1,900千トン

米国※
供給: 900千トン
需要: 800千トン



耐候性のある
大型看板用途



透明性を活かした
水槽板用途

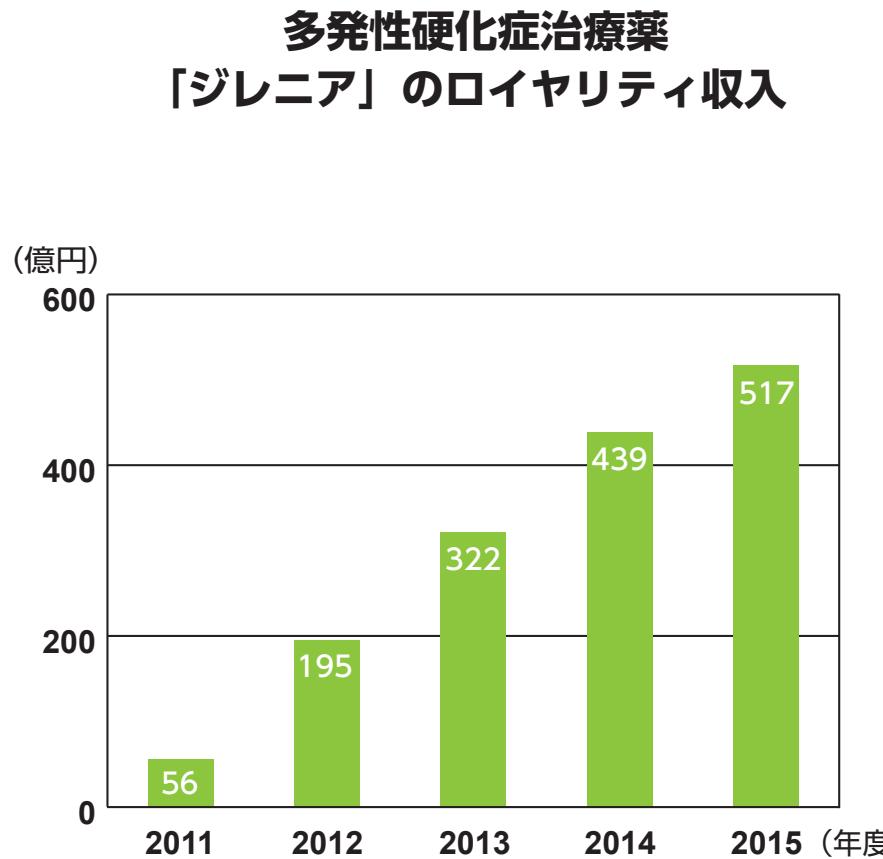


自動車ブレーキ
ランプなどの
工業用部材

トップシェアメーカー (世界生産能力シェア: 約40%、売上高: 約3,000億円) としての
グローバルオペレーションを実施し積極展開

2-2 市場をリードする製品・サービス(現在) CASE4:ヘルスケア分野(医療用医薬品)

- 関節リウマチを含めた全疾患で累計9万人以上の患者さんにお使いいただき、QOL(生活の質)向上に貢献している「レミケード」
- 投与経路の異なる皮下注製剤と合わせて、自己免疫疾患領域でNo.1を堅持していく
- 世界初の経口多発性硬化症治療剤「イムセラ」を自社創製。国内のみならず、導出先の海外大手製薬メーカー(海外製品名:ジレニア)が欧米など80カ国以上で承認を取得し、投与患者数は約15万人



2-2 市場をリードする製品・サービス (これから)

CASE1：炭素繊維

- 鉄より強く、アルミより軽い炭素繊維 CO2削減や省エネルギーに貢献

炭素繊維 のここが **KAITEKI**

- 軽くて強い
- 優れた耐食性
- 環境にやさしい



BMW i3 にプレカーサーを独占供給



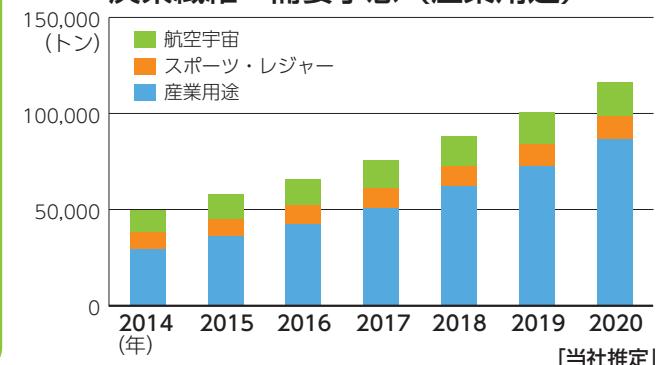
MRJ 機の動翼の部材に供給
三菱航空機（株）提供

APTSIS 20 (2016年度～2020年度) アクションプラン

- 欧州自動車市場で販売強化・製品開発
- 産業用途を中心に需要の飛躍的急増に対応した増設 (10 → 18kt/y) 計画
- 急成長が見込まれる環境対応の自動車分野でトップポジション獲得

以上の施策により、2020 年に売上高 1,000 億円をめざす

炭素繊維 需要予想 (産業用途)



2-2 市場をリードする製品・サービス (これから) CASE2: 有機太陽電池(OPV)

- 薄くて軽い“有機太陽電池”を実現
- グループの協奏で、創電の効率化に取り組む
- 世界最高の変換効率6%達成

有機薄膜太陽電池 のここが **KAITEKI**

- 軽量化と柔軟性を実現
- デザイン自由度が高い
- 製造による環境負荷が少ない



【仙台国際センター】実証実験実施中

APTSIS 20 (2016年度～2020年度) アクションプラン

シースルー OPV 製品のエネルギー変換効率、耐久性をさらに向上させ、
スリーエムジャパン株式会社との緊密な協力関係の下、事業基盤を確立

2-2 市場をリードする製品・サービス(これから) CASE3: サステナブルリソース

- 環境負荷の低いプラスチックの提供をめざし、化石原料から植物原料への転換を加速
- 抜群の透明性で環境にも優しい「デュラビオ」

「デュラビオ」のここが KAITEKI

ガラスとプラスチック両方の特長を兼ね備えたバイオプラスチック

環境負荷抑制に貢献

新規バイオエンジニアリング
プラスチック「デュラビオ」



APTSIS 20_(2016年度～2020年度) アクションプラン

光学特性・耐傷性等の機能を活かし、
高付加価値分野に注力

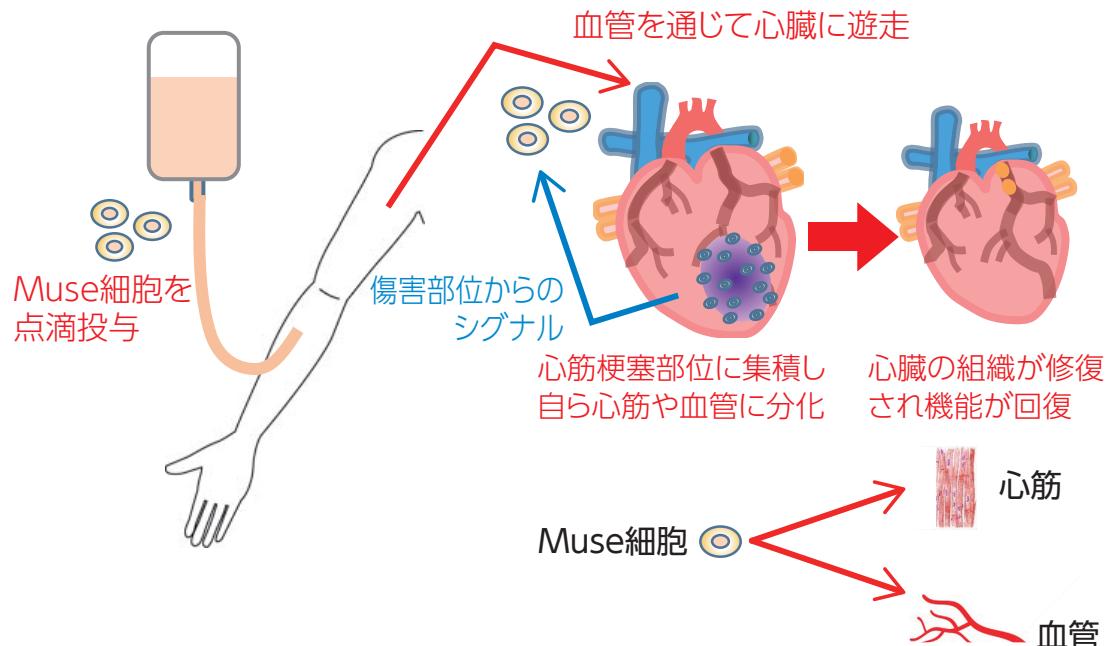
2-2 市場をリードする製品・サービス (これから)

CASE4: 再生医療

- ・次世代ヘルスケアビジネスとして、再生医療分野に進出
- ・Muse細胞の早期事業化をめざす

Muse(ミューズ)細胞 のここが KAITEKI

- 多様な分化能を持ち、様々な損傷部位を修復
- 生体内に存在する多能性幹細胞であり、腫瘍化懸念が低い
- iPS細胞(人工多能性幹細胞)などと並び再生医療への応用に期待



APTSIS 20(2016年度～2020年度) アクションプラン

Muse 細胞を用いた再生医療製品の 2019 年早期承認申請をめざす

ご清聴ありがとうございました。

THE KAITEKI COMPANY

私たちがめざすものは、“時を越え、世代を超える人と社会、そして地球の心地よさが続く状態”であると考え、この状態を“KAITEKI”というオリジナルのコンセプトで表現しております。

3 当社株式について

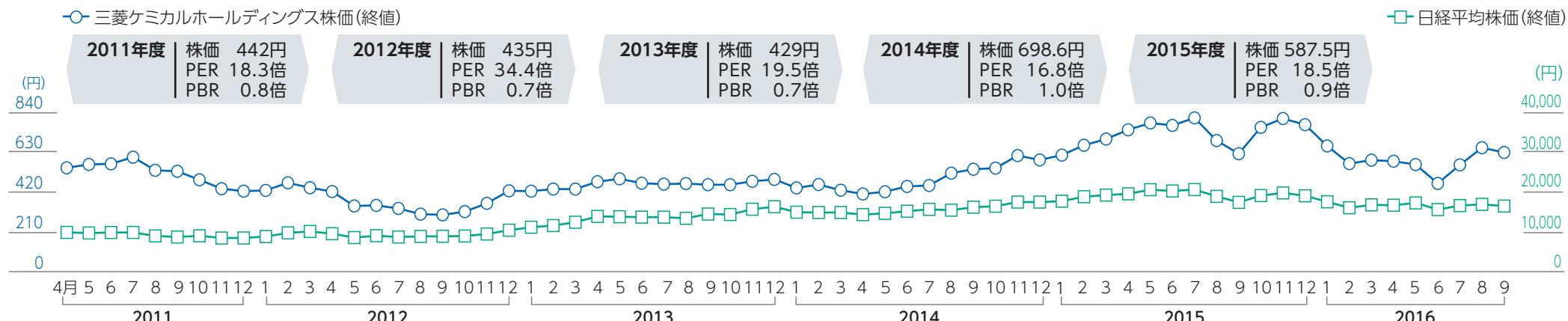
株式情報 (2016年3月31日現在)

● 上場証券取所	東証一部上場
● 証券コード	4188
● 一单元株式数	100 株

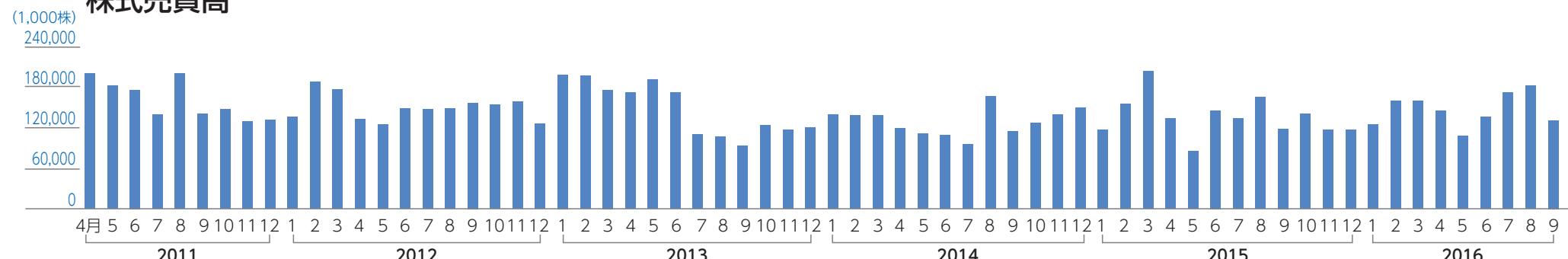
● 発行済株式数	1,506,288,107 株
● 株主数	172,016 名
● 株主名簿管理人	三菱 UFJ 信託銀行株式会社

株価／株式売買高

株価



株式売買高



本説明会および本資料における見通しは、現時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、業績予想と大きく異なる可能性があります。

当社グループは情報電子関連製品、樹脂加工品、医薬品、炭素・無機製品、産業ガス、石化製品等、非常に多岐に亘る事業を行っており、その業績は国内外の需要、為替、ナフサ・原油等の原燃料価格や調達数量、製品市況の動向、技術革新のスピード、薬価改定、製造物責任、訴訟、法規制等によって影響を受ける可能性があります。但し、業績に影響を及ぼす要素はこれらに限定されるものではありません。